

子どもを水の事故から 守りましょう

県内では今年になってから五月末までに、すでに三十七人も水による事故死が発生しています。このうち、二十八人が五才以下のおおきい子どもたちです。五月だけでも、六、十、十二(二)二十六、二十八(二)八、二十九、三十一の各日に子どもの事故死がみられます。この原因をみると、保護者が仕事のかたわら、子どもをひとりで留守にさせておき、子どもが勝手に水遊びをして、溺死したものが大部分です。

子どもの家庭教育

田沢地区で委嘱婦人学級

子どもを育てる上での心得として、田沢地区で委嘱婦人学級が実施されています。この学級は、地域の主婦を対象として、子どもの育て方、生活習慣の指導などを行っています。昨年度は、全地区で婦人学級を開設しましたが、今年度は、さらに多くの地区で開設される予定です。

国保

お知らせ

子どもを育てる上での心得として、田沢地区で委嘱婦人学級が実施されています。この学級は、地域の主婦を対象として、子どもの育て方、生活習慣の指導などを行っています。昨年度は、全地区で婦人学級を開設しましたが、今年度は、さらに多くの地区で開設される予定です。

いたずら者を追い出そう

最近、村内で駐車し、いたずらをする者が多くなっています。これらの行為は、地域の安全と秩序を脅かしています。私たちは、これらの行為を許さず、いたずら者を追い出そうと決意しています。

なかさと文芸

六月投句

初夏 桂仙
汗をふく処女の乳房に黒いもの
はたはたの腹の赤きに騒ぐ
古寺の蓮花の影に
小波はささやき合ふ風流し
静かなる夜の静けさ
ゆらゆら心をくぐり田舎かな
人恋し梅雨にこもりて茶碗酒
静かに待つ梅雨の下
梅雨のふに風吹き千曲川
梅雨と雨と混れし朝の光
万緑が包む大地の空
梅雨の中に一つのあわれ老翁
梅雨のふに人の心もかきまわ
つゆの懐きはれ初夏の声
すていもつるの伸び行く五月
晴まて果て足早の早さかな
梅雨「短夜」明けやすき
短夜の田の面を渡る月はやし

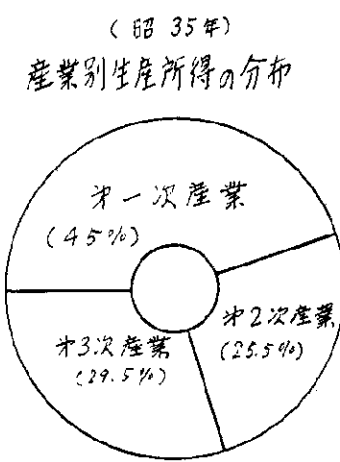
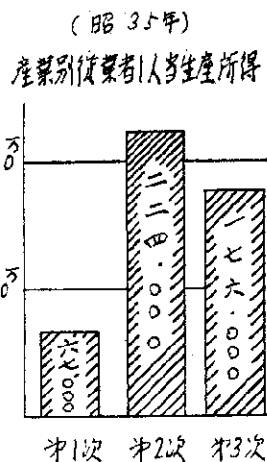


日 15
月 5
毎 部 所
月 行 館
定 中 民
里 村 公
男 4,522
女 4,503
計 9,025
世帯数 1,668
現在人口

段丘地開発のゆくえ

わが村の農業の動向から

近年、経済の著しい発展に伴って、生産性の面から、従業者の減少、農業と他産業との関係、生活水準の格差が大きくなっています。



オ二種兼業農家が倍増

いま、中里村の最近の統計数字が示す生産所得の分布と、農業の動向をみると、生産所得のウェイトはなんと一割も第一産業に落ち込んでいる。これは、兼業農家の増加によるものである。



開発をまつ段丘地市之越上山如来寺田沢地区 (鷹羽地内より眺望)

段丘地開発への着目

農業を主とする第一産業農家が倍増している点、農業が多額の借入に苦しんでいる点、農業の収入が減少している点、これらの問題に目を向け、段丘地開発に取り組んでいます。

ポンプ揚水で田畑輪換

段丘地開発は当初、清津川線合開通と呼ばれ、昭和二十五年に農林省農地事務局の計画で決定されたものである。その後の、諸事情から計画は中断したが、現在は、清津川右岸段丘地(如来寺、田沢、手沢、上山等)に、現存する水田七〇〇畝、畑一七三・四畝、原野一九・三畝、山林四七九・六畝、宅地二・五畝、灌漑口三、計七〇二・一畝を畑に輪換し、灌漑水は、清津川よりポンプ揚水する計画で、昨年より農地計画課の技術陣が現地調査に入っているものである。

開発の皮算用

さて、このような大きな開発事業で、どのような経済効果が生まれるのか、担当者の皮算用を聞いてみると、米作だけでも五〇〇・三畝で千八百一・〇八ト、金額にして一億二千万円の生産額があるといわれている。すなわち、現在農業生産三億円のうちの、約五分の一に相当する。このように、開発の皮算用は、非常に大きい。

